

2023年11月2日

課題名：腭頭部癌に対する至適術式の検討

◆研究の目的と概要◆

腭頭部癌に対して腭頭十二指腸切除もしくは腭体尾部切除という二つの術式があります。本研究は、腭頭部癌のリンパ節転移頻度や術式別の生存成績などについて明らかにし、どちらの術式がより適しているのか調べることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2012年1月から、2022年7月までの間に、腭頭部癌に対して腭頭十二指腸切除もしくは腭体尾部切除を施行された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

手術日、性別、手術時年齢、手術術式、術前CA19-9値、術前化学療法、手術時間、出血量、門脈合併切除、RO切除（完全切除、肉眼、顕微鏡的に腫瘍が取りきれた）、腫瘍径、リンパ節郭清個数、リンパ節転移個数、術後腭液漏、術後合併症、転帰、術後補助化学療法、再発形式、再発日、死因

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会発表や論文投稿を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 増井俊彦

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明